

0566-21-0211

こんにちは。院長の久田和明です。今回が引き続き28号となります。患者さまの声と設備・器具の紹介です。 家族の皆様をご覧ください。



☆メンテナンスに通う患者さんの声—PART 2

○ 50歳代 男性

(3か月に一度のメンテナンスを始めるきっかけはなんでしたか?)

治療の際に歯石をきれいにしていただき歯石が歯周病の原因と説明していただき、毎日の歯磨きだけでは不十分と感じたので定期的にメンテナンスしていただくことにしました。

(メンテナンスを始めてどのような変化がありましたか?)

メンテナンスできれいにしていただいた歯の状態を保つために毎日の歯磨きがより丁寧にするようになりました。定期的に歯の状態を見ていただいていることで自分の歯の状態に安心感があります。



○ 80歳代 女性

(3か月に一度のメンテナンスを始めるきっかけはなんでしたか?)

歯石がたまって歯が浮いた様になり歯石を取って頂きにきました。それから定期的にうかがう様になりました。

(メンテナンスを始めてどのような変化がありましたか?)

定期的に見て頂き歯石も取って頂いて気持ち良くなんとなく安心して過ごしています。

○ 80歳代 男性

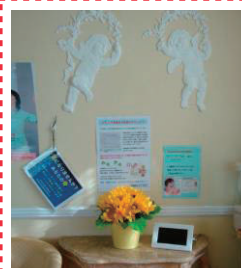
(3か月に一度のメンテナンスを始めるきっかけはなんでしたか?)

当院で治療完了した時に衛生士さんに勧められた。

(メンテナンスを始めてどのような変化がありましたか?)

初めての時は別に痛いという所も無く面倒くさいとおもっていましたが、始めてみると歯の磨き方を教えてもらったり、自分ではとても気の利かない点を指摘して貰い大変良いことと思えました。

医院のお花



設備や器具のご紹介 バキューム

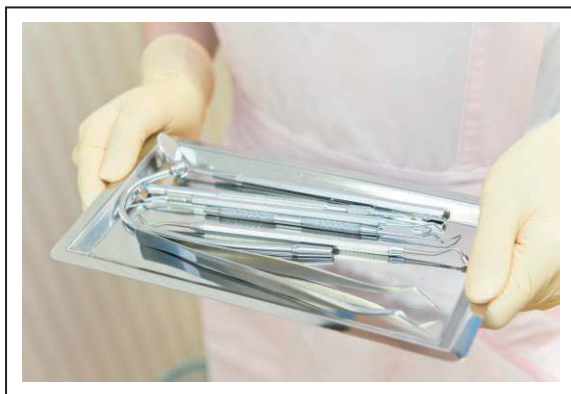
見た目は簡単なのに…やってみると難しい！

・バキュームって何？

治療中は、歯を削るときやお口の中を洗うときなど、意外とたくさんのお水を使います。さらに、お口を大きく開けたままなので、だ液もたまりまわす。その水やだ液を吸い出すのがバキュームです。そんなバキュームですが、ただ吸い取るだけなんだから簡単でしょ、と思うかもしれませんが、しかし、これが結構難しいんです。

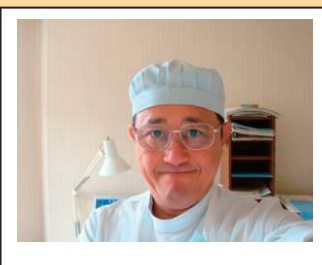
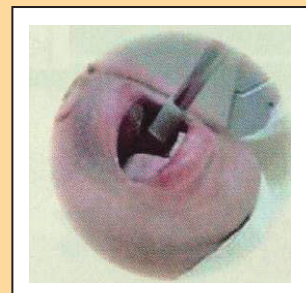
・なぜそんなに難しいのか？

お口の中には、たくさんの神経がかよっているのです、とてもデリケートですから、注意してバキュームを入れないと、頬や歯ぐきにバキュームの先端があたり、患者さんに痛い思いをさせてしまいます。また、治療に使っているミラーや歯を削る機械を、間違って吸ってしまうことも…。患者さんに不快な痛みを与えず、しかも治療の邪魔にならないようにするには、バキュームの使い方を勉強して、実際に経験を積んでいくしかありません。誰にでもすぐできる、というわけではないんです。



・吸うだけが仕事ではありません

また、バキュームは、水分を吸い取るだけでなく、治療スペースを確保するのにも使います。ほっぺたは、意外と歯と接触しているのです、歯の外側を治療するには、バキュームで頬を広げて治療スペースを確保しなくてはなりません。患者さんが痛くないように頬をひっぱるのにも、やはり技術が必要なんです。バキュームの難しさがお分かりいただけましたか？でも、治療中に、お口の中に水やだ液がたまり苦しくなったら、いつでも遠慮せず、左手を上げて合図をしてくださいね。



京極歯科

〒448-0844 刈谷市広小路3-33 (木・日・祝は休診です)

電話予約 ☎ 0566-21-0211

ネット予約 インターネットで [刈谷市 京極歯科](#) で検索してください。(24時間対応)

HP…<http://www.kyougoku-dental.com> <http://www.ireba-aichi.com> <http://www.kyougoku.jp/>

久田 和明

歯学博士

歯科理工学専攻

趣味はへたなゴルフ